

市民が創る 福祉プロジェクト 活動報告書2014

地域福祉
アクションプログラム
action!
推進協議会



平成27年3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会

わがまちベンチプロジェクト

ベンチプロジェクトは2013年度に引き続き「ひと休みと出合いのできるベンチ」を一台でも多く設置することを目指して活動してきました。現在、ベンチは市内9カ所計13台設置されています。



海洋町海岸通り沿い



奥池町集会所、ペDESTリアンデッキ、「憩いの広場」JR芦屋駅、芦屋市役所「まごのて」打出商店街、保健福祉センター、浜風町バス停

2014年度は、地域の方が多く集まるセブンイレブン潮芦屋店北側の海洋町海岸通り沿いにベンチを設置しました。

これは、プロジェクトメンバーが来店した際の店長さんとのちょっとした会話からご縁が生まれました。

お店には地域の高齢者の方々が日々多く来店されます。

店長さんは、地域に貢献できたら…と、地域のイベントにボランティアで参加する等、いろいろな活動をされています。

その活動や日々の接客の折に、お客様方から、「コーヒーを飲んだり、ちょっと座って休憩したりするためのベンチがあったらいいな…」と、常々ご要望を頂いていて、そのベンチ設置をどうしたものかと考えていたところだったというお話でした。

そして、ベンチプロジェクトの取組みにご賛同いただき、設置していただけることとなりました。

設置後は、多くの市民のみなさまにご利用いただけており、地域の方々の憩いの場ともなり、現在も人と人をつなぐツールとして役立てていただいています。

今後もこれまでと同様「つながり」のツールとして「ベンチの里親」になってくださる自治会、町内会団体、組織のみなさまがおられましたら、積極的に支援をさせていただきたいと考えております。



茶屋之町さくら通り沿い歩道

私たちは「1町に1台」を目指して進んでいきます!

市民が市民のために、市民が楽しめる情報紙

福祉という大きなテーマについて市民が理解しやすい情報は何か、情報紙プロジェクトに参加する市民が行政と一緒にあって何度も打ち合わせをしてきました。

第1号は「地域の自治会活動」、第2号は「認知症」をテーマに発行してきました。

高齢者の5人に1人が介護保険認定者で今後更に増加することは間違いありませんが、編集メンバーが行ったアンケート調査では介護に関する相談場所を知らない人が約半数という驚く結果となりました。

この結果を踏まえ、2014年度は第3号として「介護保険」をテーマに取り上げ、複雑な制度の概要や芦屋市で身近な相談場所の「高齢者生活支援センター」を紹介し、介護認定を受けるまでの事例を掲載しました。更に市内在住65歳以上の市民ならだれでも参加できる「介護予防のためのさわやか教室」を紹介しました。

2015年度から改正される介護保険は在宅介護へのシフトがポイントになるため、地域による支援が不可欠となります。

第4号は視点を変え、地域の担い手を増やすため、最近地域での活動を始めた人たちへのインタビュー記事を掲載すべく準備を始めています。



ひとりー役

さまざまなニーズにきめ細かくこたえる多様な地域福祉活動をすすめるよう、一人ひとりが「できること」で参加し、多彩な人々に呼びかけて広げます。

2014年度「あしや役立ち隊」支援の実績

日時	支援内容	支援を求める人(団体)	活動している人(団体)
8月	みどり地域生活支援センター	芦屋市手をつなぐ育成会	ひとりー役
9月	出前教室を開催	芦屋ボランティア連絡会	(社)コミュニティ援助室
2月	ベンチ設置の相談・支援	市内店舗	ひとりー役 ベンチプロジェクト
3月	「いのちまもるあしや ～減災リーフレット～」の作成支援	キラッとプロジェクト	ひとりー役 ベンチプロジェクト

『キラッとプロジェクト』誕生秘話

「来年は阪神淡路大震災から20年だね。」「何か記念になることができないかしら。」とベンチプロジェクトの仲間が「あ〜だ、こ〜だ。」と何度も話し込んでいた2014年の夏のある日、保健福祉フェアで、中途失明されたひとりの障がいのある方から毎日の具体的な暮らしぶりをお聴きする機会を得ました。

「そうなの!?!」「それは大変だ!」と初めて知ることもあったけれど、「私たちにできることがあるんだ!」と実感もできました。

障がいのある方からの発信で生活の知恵や他者への配慮など情報やヒントを得ただけでなく、「こんなことこそ、たくさんの人に伝えたい」と思ったことしきり。

「それなら、高齢者も子どもも障がいのあるなしに関わらず、生きていく上で、必要で、大切な基本情報は何だろう?」

そしてそれは、「災害から命を守る行動をとること」であり、そこから生み出されたアイデアが…

「さあ、減災リーフレット『いのちまもるあしや』を作ろう」でした。

完成したリーフレットは、あれもこれも減災ヒントをぎゅうぎゅう詰め。

でも、このサイズなら…バッグに入れて眺め、時にペラッとめくって自分に必要なものを準備する市民が増えるかもしれない!

一人でも多くの市民が、自分を守る準備が出来たら…。

その人の手はお隣さんを助けることができるかもしれない。その人の手は車椅子を押すために働いてくれるかもしれない。耳が聞こえない方の筆談をする手になってくれるかもしれない。目が見えない方を励まし、幼い子を抱くママたちの荷物を持ってくれ、高齢者の手を導く力強い手になってくれるかもしれない……

「そんな市民が増えたらいいなあ。」と『キラッとプロジェクト』の夢は続いています。



いのちまもるあしや
 ~減災リーフレット~
**雨にも風にも地震にも
 津波にも土石流にも負けないぞ!**
 なまえ

**いざという時、一人じゃないぞ
 家族と手を取り、隣人と助け合い
 市民一丸で命を守ろう!**

助け上手、助けられ上手の芦屋市民!

<p>いのちまもるあしや ~減災リーフレット~ 雨にも風にも地震にも津波にも土石流にも負けないぞ!</p> <p>いざという時、一人じゃないぞ 家族と手を取り、隣人と助け合い 市民一丸で命を守ろう!</p> <p>助け上手、助けられ上手の芦屋市民!</p>	<p>人とつながれば 防災カアップ 共助</p> <p>家族で防災食糧 自助</p> <p>いざという時? スムーズを 公助のために</p>	<p>減災グッズヒント</p> <p>防災グッズの準備</p> <p>減災グッズの準備</p> <p>減災グッズの準備</p>
---	---	--

「いのちまもるあしや」は地域福祉課で配布しておりますので興味のある方は窓口までお越し下さい。

地域福祉アクションプログラム

■ 報告書の作成にあたって

地域福祉アクションプログラム推進協議会は、第2次芦屋市地域福祉計画(平成24年3月策定)にもとづき、公民協働の活動・事業プロジェクトを推進する仕組みとして設置されています。この協議会の役割は、地域福祉を推進する市民グループ(プロジェクト)の発足と、その取り組みを支援することです。

本年度は、新たに「キラッとプロジェクト」の発足を支援し、「いのちまもるあしや～減災リーフレット～」を発行することができました。また、既存の3つのプロジェクトの推進と保健福祉フェアへの参加及び市民が創る福祉プロジェクト展の開催は、検討を重ねて継続していきます。

私たちの活動も3年を経過し、特に、ベンチ設置の普及には、企業の協賛が欠かせないことや情報紙の改良は、もっと住民の市民活動状況を紹介し合っ、互いの交流を深めるための橋渡し役を担う必要があるのではないかと考えます。

そしてひとり一役運動の推進は、目的を果たしている人や集団(サークル、クラブ、チーム等)の存在をさぐりながら、少しでも多くの専門性をもった職業人や体験を積み上げてきた企業人を発掘し、それらの力を必要とする人たちにつなぎ、支え合いをさらに大きく広げていかなければならないと考えています。

次年度は、第3次芦屋市地域福祉計画の策定に向けて、「地域福祉」の広がりの評価のために、住民生活の幸福度合を測る方策などを検討することも視野に入れ、さらに邁進したいと思っています。

今後も市民のみなさまと協働で取り組みたいと思います。

2015年 3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会 会長 上野 義治

2014年度 活動の軌跡

開催日		活動内容等
2014年	4月17日	新年度の活動計画・各プロジェクトの取組計画の共有
	5月 8日	2013年度活動報告書の作成について協議
	5月29日 6月24日	第5回あしや保健福祉フェアの参加内容の協議
	7月26日	第5回あしや保健福祉フェア
	8月27日	第5回あしや保健福祉フェアの参加の評価、反省点等の共有
	9月29日 10月17日	茶屋秋まつりの参加内容の協議
	10月25日	茶屋秋まつり
	11月19日 12月18日	第4回市民が創る福祉プロジェクト展の内容協議
2015年	1月29日	
	2月19日	2015年度の活動について協議
	3月22日	第4回市民が創る福祉プロジェクト展

第5回 あしや保健福祉フェア

このまちがすき～つながりをひろげよう～ 助け上手・助けられ上手で、災害に強いまちづくり! ～地域福祉で備えよう!～

平成26年7月26日(土)第5回あしや保健福祉フェアが開催されました。

今回は、第2次芦屋市地域福祉計画を推進する目標のひとつである「安心・安全でバリアのない生活環境をつくります」を取り上げ、災害に強い芦屋市を目指して、災害時にだれもが安全に避難できるよう、日頃からの準備について、さまざまな情報を発信し、111人が来場されました。

内容



- ① 講演 「考えてみましょう!日頃からの備え」
講師 芦田 耕司さん(NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災)
発信者 芦屋市身体障害者福祉協会のみなさん
- ② 報告 「私の地域の取組」
報告者 山田 菜さん(朝日ヶ丘レックスマンション1号棟管理人)
報告者 楠本 慶子さん(公光町 自治会・自主防災会 防災士)
- ③ 寸劇 「地域の絆が輝るとき～この地域が好き～」
演者 地域福祉アクションプログラム推進協議会メンバー・芦屋市職員
- ④ 模擬体験 「その時あなたは?助け上手・助けられ上手を実践しよう!」
発信者 芦屋市身体障害者福祉協会のみなさん

第4回 市民が創る福祉プロジェクト展

つながろう! 広げよう! 「芦屋」 たすけ上手、たすけられ上手

平成27年3月22日(日)芦屋市福祉センターの多目的ホールにおいて、「第4回市民が創る福祉プロジェクト展」を開催しました。

今回は、「つながろう! 広げよう! 芦屋」をテーマに、視覚障がいのある方から「毎日の暮らし」についてお話を聞かせていただいたことがきっかけとなり誕生した「いのちまもるあしや～減災リーフレット～」の作成の取組報告をはじめとして、宇宙亭きららさんの手話落語を聞くなど、参加者全員で楽しいひとときを過ごしました。

また、聴覚障がいの方のお話をお聴きする機会もあり、「暮らしの中で、必要な情報の判断は、当事者自身が行うのであって、健聴者の判断によって加除されるものではない。」ということや情報発信の方法について、口頭だけでなく可視化の必要性を実体験から伝えていただきました。

この催しを通じて、障がいのある人もない人も、高齢者も子どもも地域に暮らすひとりひとりがつながり、互いの理解を深められるよう、今後も、「地域福祉の推進」に取り組みます。

●お問い合わせ

芦屋市 福祉部 地域福祉課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6
TEL 0797-31-2121 FAX 0797-38-2160
ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>